

12月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.104 令和4年(2022年)2月1日発行

目次

- ・特集 にぎわい創出へ! 初めの一步
~まちなかに5大学が開学~ P2
- ・12月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・議員連盟活動レポートなど P12

まちなか フ ァ イ ブ FIVE

めの一步

5大学が開学～

にぎわい創出を図るため、本市と県が誘致開学しました。令和8年度には、約2000人み、学生生活を送ることになります。

きっかけになればとの思いから、各大学の

大学の魅力と自己紹介から始まった意見交換会は、初対面ながらも終始笑顔が見られ、積極的な意見が交わされました。学生の目に映るまちなかは、市駅周辺のリニューアルや和歌山城ホールの開館、おしゃれなカフェのオープンなど、少しずつまちなかに変化が起きていることを感じ取っているようでした。一方で、ぶらくり丁周辺のにぎわいやまちなか

の回遊性、移動手段など、中心市街地一帯を取り巻く現状について、若者目線による課題が挙げられました。さらに、充実した学生生活が送れるよう、支援制度の創設など、学生に優しいまちづくりを期待する声が寄せられました。また、将来のことを問うと、「大



和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 (令和3年4月開学)

和歌山市湊本町3丁目1番地
☎073-435-4888



将来を担う学びと出会い



和歌山県立医科大学 薬学部

(令和3年4月開学)

【伏虎キャンパス】
和歌山市七番丁25番1
☎073-488-1843



宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 (令和2年4月開学)

【和歌山キャンパス】
和歌山市中之島2252番地
☎073-494-5000





東京医療保健大学 和歌山看護学部 (平成30年4月開学)

【雄湊キャンパス】
和歌山市東坂ノ上丁3番地
【日赤和歌山医療センターキャンパス】
和歌山市小松原通4丁目20番地
☎073-435-5819



にぎわい 創出へ! 初 ～まちなかに

若年者層の市外流出抑制やまちなかのしていた専門性の高い5つの大学が全ての学生が本市の中心市街地で学業に励
今回、大学の枠を越え、学生が交流する協力の下、意見交換会を開催しました。

点から線へ、線から面へ

意見交換会では、新たなつながりへと発展するボランティア活動や紀州おどり「ぶんだら節」への合同参加が提案され、学生にとって有意義な場であったと思います。

さて、大学生活では将来の目標に向け、専門的な知識と技術の修得を最優先とし、加えて人とのつながりを大切にしていきたいと思えます。学内のつながりが学外へと広がり、5大学が一つの輪

となつて結ばれていく。点と点が線となり、線がつながり面となつた中には、地域という大きな財産があります。地域住民に愛され、地域の一員として、若い力でまちを盛り上げてほしいと思います。そして将来、地域を支える人材として本市で活躍することを願っています。

最後に、私たちも今回の取組が一過性とならないよう、今後も学生の声にしっかりと耳を傾け、サポートできるように議員活動に取り組んでいきます。



和歌山信愛大学 教育学部 (平成31年4月開学)

【本町キャンパス】
和歌山市住吉町1番地
☎073-488-6228



編集後記



待ちに待った和歌山市内に5つの大学が開学。今回は、各大学からそれぞれ2名の明るく元気な学生さんに集ってもらい、和歌山市の現状及び今後に対する期待等について語り合ってもらいました。若者ならではの建設的な意見の数々に、取材した私たちも和歌山市に明るい希望を感じた時間でした。これを機会に今後、大学同士の交流が進むことを希望すると同時に、私たち和歌山市議会も彼らと共に和歌山市の将来に向けて歩もうと実感しました。

特集担当：堀 良子、赤松 良寛、山中 敏生



12月定例会の概要

開会

11月26日

- ・会期の決定(11月26日～12月16日)
- ・議案説明(報告関係4件、承認関係1件、議案30件(補正予算案1件、条例案9件、その他20件))
- ・先議分 質疑(姫田議員)

11月29日

- ・先議分 反対討論(姫田議員)、採決
- ・議案説明(人事案件1件)、採決
- ・決算関係の議案(令和3年9月定例市議会議案)
- ・決算特別委員会の委員長報告
- ・反対討論(森下議員)、採決

一般質問等

12月1日

- ・永野裕久議員、坂口多美子議員、堀 良子議員、中村朝人議員

12月2日

- ・中村元彦議員、森下佐知子議員、南畑幸代議員

12月3日

- ・浜田真輔議員、中塚 隆議員、井本有一議員
- ・追加議案の説明(補正予算案2件)

12月6日

- ・芝本和己議員、姫田高宏議員、松井紀博議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案等の委員会付託

常任委員会

12月7日～10日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案等について審査

12月13日

- ・各常任委員会で議案等について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

閉会

12月16日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(中村(朝)議員)、採決
- ・請願(1件)、採決
- ・追加議案の説明(補正予算案1件)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・議員発議(意見書案1件)、採決

令和3年度予算(12月補正後)

一般会計	1,557億9,090万2千円 (補正額65億9,975万6千円)
特別会計及び公営企業会計	1,387億4,578万8千円 (補正額22億8,398万4千円)
合計	2,945億3,669万円

補正予算の概要

一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯臨時特別給付金事業、中小企業サポート補助事業、貴志川線設備修繕補助事業、避難行動要支援者登録事業などに要する経費が、また、コミュニティセンター管理運営事業、道路災害復旧事業などに要する経費が計上されました。

公営企業会計では、水道事業会計で、六十谷水管橋破損に伴う災害復旧事業、配水施設整備事業に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

六十谷水管橋の崩落に関し緊急協議を行いました!

令和3年10月3日に発生した六十谷水管橋の崩落は、市北部全域の約6万世帯(約13万8000人)が断水となるなど多大な影響をもたらしました。この事態を受け、市議会では、仮復旧後の10月20日に全員協議会、11月5日及び17日には新たに設置した六十谷水管橋崩落に関する協議会を開催しました。

これらの場では、本復旧、断水に係る減免措置、原因究明、代替機能の検討、機器補償の窓口設置、市民に対する情報発信、営業に係る援助などの諸問題について、様々な観点から議論を行いました。



六十谷水管橋崩落に関する協議会

ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各党派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



なかむら もとひこ
中村 元彦

子供たちを取り巻く環境の整備

問 私たち大人が、未来ある子供たちを健全な方向に導かなければならない。学校生活の中で子供たちに寄り添える大人は教職員、スクールカウンセラーである。特に、スクールカウンセラー

については、文部科学省の意見のとおり、勤務日数を増やし、相談者に寄り添うことが大切であり、財務省が意見しているように、スクールカウンセラーの資質の向上を行わなければならないと考えるがどうか。

また、本市教育委員会では、SNSに起因するトラブルについて、注意喚起を行い、子供たちを犯罪から守る努力をしている。しかし、SNSを通じて、馬鹿な大人が子供たちを犯罪に巻き込んでいる状況がある。このような大人から子供たちを守る手立てを考えるとが先決であり、子供たちへの指導だけでなく、犯罪を未然に防ぐことが最も重要だと考えるがどうか。

答 子供たちを取り巻く環境の変化に伴い、相談内容については、多様化・複雑化してきており、勤務日数及び資質の向上の両面でスクールカウンセラーによるサポートをより充実させることが大切であると考えます。

また、子供たちを様々なトラブルから守るためには、手本となる大人が法令、マ

ナーを守ることが重要であると認識している。今後も、警察等の関係機関及び地域の関係団体と連携し、誰もが安全・安心に暮らせる環境づくりに努めていく。



問 子供たちの心の傷は治療が困難であり、また容易に発見することができない。悩み苦しんでいる子供に寄り添い、共に苦しんであげられる存在がスクールカウンセラーである。学校現場からは、スクールカウンセラーの効果を評価する声が多いことから、配置に関して、今後も県教育委員会に強く要望し、本市教育委員会が主導権を持つて、人知れず悩み苦しんでいる子供たちの心の間に二筋の光を照

らしてあげていただきたいと考えるがどうか。
答 子供たちのちょっとした変化も見逃さないよう学校に指示するとともに、子ども支援センター等の関係機関を積極的に学校やカウンセラーと連携させ、児童生徒の心のケアに組織的に取り組むことで、対応力の向上を図っていく。

野球王国和歌山

問 全国区で活躍する高校野球だけでなく、学童や中学野球のレベルが高くなければ、野球王国和歌山と言われるようにはならない。そのためにも、子供たちの練習環境を整備すべきだと考えるが、スポーツ振興及び健全育成の観点から学童や中学生の野球チームへの支援について、市長の考えはどうか。

答 市民が身近にスポーツを楽しめる環境づくりを目標としてスポーツ環境の整備に取り組んでいるが、学童や中学野球の練習環境については、まだ全てのチームで充足しているとは思っていない。引き続き、スポーツ団体等

の意見をいただきながら、より充実した環境となるよう取り組んでいく。



公明党議員団



ほり よしこ
堀 良子

緊急時の情報発信

問 命を守るための情報を必ず全ての市民に届けるという決意を持つことが、本市の大きな責務と考える。緊急時に発信する情報に

ついては、一人も置き去りにしないという精神により、受信できない市民をゼロに

するための手段として、防災ラジオを支給すべきだと考えるがどうか。



【答】本市としては、防災ラジオを含め、様々な情報伝達手段を活用し、市民の皆様

【問】コロナ下で困難な状況にある女性への支援と社会に大きく波動を起こす女性の活躍促進のため、女性のデジタル人材を育成する事業に取り組みべきだと考えるがどうか。

【答】デジタル技能の習得や学び直しへの支援は、女性の再就職や転職につながると思われるので、デジタル分野をはじめとした就労支援や人材育成のための取組を推進していく。

コロナ下における女性支援

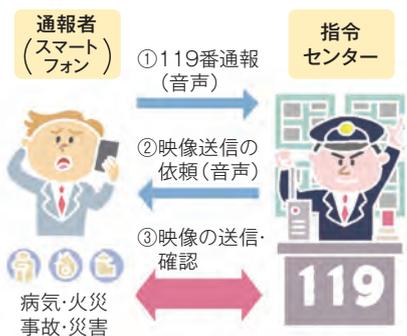


なかつか たかし
中塚 隆

スマートフォン通報システム

【問】スマートフォンを活用した道路損傷通報システムの導入により、市民サービスの向上と業務の効率化が図られ、その効果は大きい。今後、道路管理以外の様々な業務での活用を検討してはどうか。また、市民の命と財産を守る消防業務においては、被害の拡大を未然

に防ぎ、一人でも多くの命を救うことができる「Live 119」のようなシステムを導入してはどうか。



【答】今後は、ごみの不法投棄や公園遊具の損傷の通報など、組織横断型のワーキンググループで活用方法を検討していく。また、119番通報システムは、リアルタイムで災害現場映像が確認できるなど効果的な活用ができると思われる。奏功事例等の情報を集約し分析を進めるとともに、4消防本部で構成する消防通信指令事務協議会へ研究・検討を重ねるよう働きかける。

HSCへのサポート

【問】HSC（ハイリー・センシティブチャイルド）とは、人

一倍繊細な特性を持つ子供のことであり、5人に1人が該当すると言われている。教育現場においては、繊細さゆえに不登校につながりかねないHSCへの理解を深め、彼らが安心して優れた能力を発揮できる環境を構築すべきだと考えるがどうか。

【答】スクールカウンセラー等による教職員への校内研修をはじめ、様々な機会を通じて理解を深め、適切な支援ができる体制の構築に向け、早期に取り組んでいく。

政和クラブ



しばもと かずき
芝本 和己

六十谷水管橋崩落を受けて

【問】①令和元年9月に示された厚生労働省の関連ガイドラインによると、当該水管橋については2年ごとに定期点検を行うよう定められており、このガイドラインどおり点検していれば、腐食や破断は発見でき、崩

落は防げたのではないか。

【答】②今後の安定供給のため、北部地域への浄水場の新設とともに、例えば、海南市と広域的に水道事業の連携をしてはどうか。

【答】③本市水道事業の将来像を市民に問う和歌山市水道ビジョン策定委員会を立ち上げてはどうか。

【答】①点検については河川法第15条の2の規定に基づき、年1回実施し、令和元年9月以降は、厚生労働省のガイドラインに沿った点検を行っているが、今後は具体的な点検方法を早急に検討する。

【答】②海南市との広域化については、過去から協議してきた経緯があるが、現在合意には至っていない。しかし、広域化は水道事業の経営基盤の強化を図る有効な方策の一つであるため、積極的に研究していく。

【答】③和歌山市水道ビジョンについては見直す必要があると考えているが、策定に当たり、市民の意見を聞くためには、委員会の設立も有効な一案であり、今後、効果的な方法を検討する。



まつい のりひろ
松井 紀博

地球温暖化対策

問 気候変動に関する政府間パネルの報告書は、誤解されやすい表現もあり懐疑論も見られるが、市長の認識はどうか。また、それに基づく国の温室効果ガス削減目標をどう捉えているのか。

答 報告書は学識経験者が参加して議論したもので、自然科学的根拠に基づくものとされている。国の地球温暖化対策計画では、地域の自然的条件に応じた施策の推進が地方公共団体の基本的役割とされており、本市の産業集積が大きいという社会的条件を考慮すると、今後の技術革新が必須で、厳しい削減目標である。
問 具体策がないまま国の方針に従って目標を設定すれば、地域経済への影響が大きい。市長は、政治家として前のめりになり過ぎず、慎重に取り組むべきでは。
答 取組には、産業界や市

民のご協力に多大な負担が伴うことや、地域の温室効果ガスの部門別構成からすると厳しい削減目標であることから慎重に取り組む必要があると考えている。しかしながら、喫緊の課題であり、世界的には気候変動対策を経済成長に結びつける考え方が広がりつつある。発想を転換し、必要な対策を行うことで、産業構造や社会経済の変革をもたらし、経済と環境の好循環の実現に向けて取り組んでいく。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

校則の見直し

問 中学校における下着の色や髪型の制限など人権を侵害する校則は直ちに見直すべきで、見直す際は生徒や保護者の参加、改正手続の明文化が必要ではないか。
答 教育的意義を十分確認した上で見直しに取り組む。



なかむら あさと
中村 朝人

環境問題／住宅政策

問 温暖化対策は、市民生活の向上に欠かせない。住宅等の新築・改築時の補助制度を創設してはどうか。
答 国の制度を啓発する。
問 民間住宅の活用や松ヶ丘団地の建て替えはどうか。
答 市民ニーズや需要動向を考慮し、検討していく。



もりした さちこ
森下 佐知子

水道行政

問 六十谷水管橋の事故を受け、水道ビジョン、経営戦略ともに見直し、市民に示すべきではないか。
答 水道ビジョンは、代替機能の向上を踏まえ、具体的な施策の点検や見直しを検討し、経営戦略の見直しも図っていく。また、市民からの意見を聞き進めていく。



みなみばた さちよ
南畑 幸代

六十谷水管橋の崩落

問 給水拠点の増設や高齢者等への運搬支援はどうか。また、入院や体調を崩した方への支援が必要ではないか。
答 給水拠点は可能な範囲で増設し、多くの方に運搬の協力をいただいた。また、断水による直接的な原因以外の助成は行っていない。



いもと ゆういち
井本 有一

ジェンダー平等を市政から

問 本市は、女性管理職の割合が全国的な状況と比べて遅れている。今後、どう対応していくのか。
答 女性管理職は、現在9.6%であり、15%以上を目標に、働きやすい環境を整備し、管理職として必要な能力と適性を備えた女性職員の育成に取り組む。



ひめた たかひろ
姫田 高宏

障害者の65歳問題

問 障害福祉サービスを受けている方が65歳になつたときの対応はどうか。
答 一律に介護保険サービスへ移行するのではなく、障害福祉サービスを必要とする理由等を聞き、適切な判断に努めなければならない。

民主クラブ

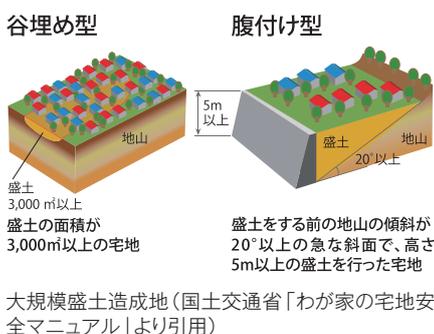


ながの ひろひさ
永野 裕久

盛土箇所の調査・点検

問 盛土が起因となり発生した大規模土砂災害を受け、県では土砂災害警戒区域などのうち、過去に盛土造成が行われた箇所の総点検を行った。本市でも独自に調査、点検を行ったと聞いているが、どのようなものか。

また、今後、県から協力要請があった場合は、迅速に応じることはもちろん、市としても引き続き危険性の有無を注視し、その結果、安定性の評価が低いと判断した箇所は適切な対策を講じられたい。



問 土石流の危険性があると指定された区域上部の造成地と過去に大規模な盛土がなされた造成地の中から26か所を抽出し、現地調査を実施した。計画以上の盛土がなされていないかを確認するとともに、地滑りの兆候がないかなどを調査し、いずれも危険性がないことを確認している。

悪質水上バイク

問 コロナ禍での密を回避で

きるマリンスライダーが注目を集める中、水上バイクの危険行為が頻発している。海の資源が豊かな本市において、市民と多くの観光客の安全を守るため、危険航行を行う悪質な水上バイクに対し、きざんとした態度で臨む姿勢を示す必要があると思うがどうか。

答 危険な航行を行う水上バイクは、極めて悪質であり、そのような水上バイクを発見した場合は、警察や海上保安部等関係機関へ速やかに通報するなど、きざんとした態度で臨んでいく。

また、観光都市である本市には観光客を守る責務があり、国に働きかけを行うなど、未然に行政施策を行う姿勢を見せることも海のまち和歌山市の務めではないかと思うがどうか。

和歌山興志クラブ・日本維新の会



**六十谷水管橋崩落問題
① 受付窓口・初期対応**

問 事故発生当初、驚くべきことに救護物資やボランティアの受付窓口は明確ではなく、数日後、多忙を極める当事者である企業局に設置された。どのような災害発生時においても、これらに対する対応は必須課題であり、場合によっては、命をつなぐ大切な課題であると思うが、市長の考えはどうか。

答 災害発生後には命をつなぐことが最優先であり、救護物資やボランティアの受け入れ体制を整えることは重要であると認識している。

また、今回は初期段階の対応に時間を要したことが課題であると認識している。事案を検証し、今後、自然災害と同様にどのような災害が起こっても、救護物資やボランティア活動の窓口業務を迅速に開始できるように、体制の強化に取り組んでいく。



崩落した六十谷水管橋

② 保守点検の方法

問 事故の原因と思われるつり材の破断部分の腐食を定期点検で見つけ出せなかった結果、市民生活に大きな混乱を招いたことは誠に残念である。二度と同じ過ちを繰り返さないよう、保守点検をはじめとする体制づくりに取り組んでもらいたい。今回の反省から、水管

橋復旧工事後の保守点検の在り方や取組をどう考えるか。

答 厚生労働省のガイドラインでも点検方法が明確でないため、今後、本市において具体的な点検方法の検討が必要と考えている。

工事終了後の点検、保守についてはドローンやロボットカメラ等の新しい技術を採用することも検討し、点検方法を具体的に、今回のようなことが起こらないようにしっかりと対策を講じていく。

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、暴力団追放県民市民大会開催負担金事業28万円の減額について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により暴力団追放県民市民大会が中止されたため、減額するものです。

議案第32号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、水道事業2億7483万円について。これは、令和3年10月3日に発生した六十谷水管橋破損に伴う送水管本復旧事業に対して出資するものです。



サーマルカメラによる検温

なお、審査過程において、令和3年度コロナ禍における避難所の開設・運営訓練実施結果について、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



感染疑い者専用スペースの設営訓練



一般避難者用スペースの設営訓練

厚生委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案11件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、感染症患者入院医療事業1億5608万9千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、入院医療費の自己負担分に対して行っている公費負担を増額するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業3億5474万7千円について。これは、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を円滑に実施するための体制等を整備する費用の増額及び集団接種に要した費用の精算等を行うものです。

議案第7号、和歌山市児童福祉法に係る費用に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第8号、和歌山市特定教育・保育及び特定地域型保育等に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これらは、子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、認可保育所等を利用する

場合の利用者負担額の算定について、多子世帯の算定対象となる児童の範囲が改められたため、所要の改正を行うものです。

議案第32号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、子育て世帯臨時特別給付金事業26億8222万1千6千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、18歳までの子供を養育している一定の所得の世帯に対して、1人当たり5万円の給付金を支給するものです。



なお、審査過程において、介護保険サービス事業者に対する行政処分、和歌山市の新型コロナウイルス感染症とワクチン接種、太陽光発電事業の進捗、し尿くみ取り手数料の減免について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案8件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、付託された請願1件について、採択すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、文化観光推進地域計画策定事業681万円について。これは、和歌山市文化観光推進地域計画の策定に係る基礎的データを得るための調査を行うものです。

農業施設維持事業1000万円について。これは、国補助を活用し、防災重点農業用ため池のため池ハザードマップ作成に係る業務委託を行うものです。

コミュニティセンター管理運営事業8104万8千円について。これ



南コミュニティセンター

は、南コミュニティセンターを改修し、図書室等を設置するものです。

令和3年度和歌山市中小企業サポート補助事業1620万円について。これは、令和3年度和歌山市中小企業サポート補助事業の申請件数が見込みよりも増加したため、増額するものです。

学校ICT環境設備整備事業1807万3千円について。これは、オンライン授業等に対応するため、各学級にGIGAスクール端末を整備するものです。

小学校維持管理事業705万円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校で使用する消毒液等の衛生用品を購入するものです。

幼稚園維持管理事業419万4千円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策のため、幼稚園職員がオンラインで研修を受けるためのパソコンを整備するものです。

なお、審査過程において、和歌山県の整備スケジュール検討状況(仮称)つつじが丘総合公園整備事業検討状況、令和3年度附属機関の会議の開催、和歌山市中学校給食実施方法等調査検討業務中間報告書について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案10件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、バス路線維持対策事業32万8千円について。これは、紀三井寺団地の地域バスの車両整備を行うものです。

道路災害復旧事業7000万円について。これは、令和3年8月の大雨により加太81号線が崩壊したため復旧を行うもの、また、同事業150万円は、令和3年8月の大雨により市道の法面等が被災したため復旧を行うものです。

下水道災害復旧事業100万円について。これは、令和3年8月の大雨により水路が被災したため復旧を行うものです。

河川災害復旧事業150万円について。これは、令和3年8月の大雨により護岸等が被災したため復旧を行うものです。

貴志川線設備修繕補助事業2839万6千円について。これは、貴志川線の安全な運行継続を図るため、設備修繕に係る費用に対し補助金を交付するものです。

地域バス運営補助事業40万円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が減少している紀三井寺団地地域バスの運行継続を支援するため、奨励金を交付するものです。

議案第33号、令和3年度和歌山市水道事業会計補正予算(第1号)中、災害復旧事業6億5133万1千円について。これは、六十谷水管橋破損に伴う対応費用についての補正で、通常の経営に伴うものではなく、臨時かつ巨額の支出となるため、特別損失で計上するものです。

配水施設整備事業16億3265万3千円について。これは、六十谷水管橋破損に伴い、送水管本復旧に係る費用を補正するものです。



破損した六十谷水管橋

なお、審査過程において、六十谷水管橋破損、住宅第2課所管団地における共益費の過誤請求などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

議長メッセージ

市民の皆様へ

令和3年10月3日に発生した六十谷水管橋の破損は、市民生活に大きな影響を与える事態となりました。市議会といたしましては、多くの皆様方に変なご不便とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

また、高齢者や要支援者への配水、小学校などでの給水活動、物資や給水場所の無償提供など、和歌山市を挙げて助け合いの輪が広がり、まさに「オール和歌山」と呼ぶにふさわしい行動に、改めて和歌山市民の皆様方の温かさを実感いたしました。たくさんの方々の様々なご支援ご協力を心から感謝を申し上げます。

市議会といたしましては、市民の生命、健康を守るインフラ整備をはじめ、市民の皆様方の暮らしを守るといふ強い使命感を持ち、和歌山市に住んで良かったと誰もが実感していただける魅力あるまちづくりの実現を目指し、今後も情熱を傾けて取り組んでまいります。



議長

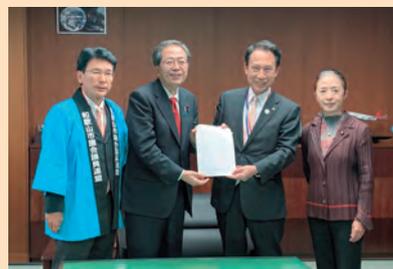
よしもと まさみ
吉本 昌純

議員連盟

活動 レポート

Vol.22

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟及び京奈和・第二阪和連絡道路建設促進和歌山市議会議員連盟は、新六箇井堰の撤去及び七瀬川流域浸水対策の促進、和歌山環状北道路（京奈和・第二阪和連絡道路）の早期事業化に向けて各々活動しています。両議員連盟が合同で、斉藤国土交通大臣をはじめ、国土交通省や和歌山県選出国會議員等に対し、要望活動を行いました。



議員連盟

活動 レポート

Vol.23

日台友好和歌山市議会議員連盟は、第7回となる日台交流サミットに出席しました。今年度は11月に神戸市で開催され、謝長廷駐日代表をはじめ、全国から300人以上の地方議員や、台湾関係者など総勢510人が参加しました。コロナ禍により渡航が困難な状況ではありますが、日台友好和歌山市議会議員連盟では、これからも台湾との友好交流に努めてまいります。



次の定例会は、
2月です!

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び感染リスク軽減のため、本会議及び委員会の傍聴は、できる限り同時配信しているインターネット中継をご覧ください。ご協力をお願いします。



生中継・録画中継が
ご覧いただけます。

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

【委員長】中村 元彦 【副委員長】堀 良子
 【委員】中村 朝人 中庄谷 孝次郎 赤松 良寛
 山中 敏生 川端 康史 坂口 多美子
 中塚 隆 井上 直樹 北野 均
 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL: 432-0022(議会事務局)
 FAX: 424-9276
 Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

